

広域連合長挨拶

「関西新時代～KANSAIから日本の未来をつくる!～」



広域連合長
三日月大造 (滋賀県知事)

関西広域連合は、2010年の設立から15年目を迎えました。この間、多くの皆さまのたゆまぬ御尽力により、ドクターヘリによる広域救急医療体制の充実、東日本大震災や能登半島地震でのカウンターパート方式による迅速な被災地支援、新型コロナウイルス感染症対応等をはじめとする様々な分野で着実に成果を上げてきました。

さらに、東京一極集中を是正し地域の活力を生み出すため、京都への文化庁の移転、徳島への消費者庁新未来創造戦略本部の設置、和歌山への総務省統計局統計データ利活用センターの開設など、国の本省機能の一部移転等を実現しました。

引き続き、関西から日本の未来をつくるため、5つの力の向上に努めます。

一点目は、阪神・淡路大震災から30年の節目を迎え、住民の安全・安心の生活を守るべく、防災庁設置の議論を牽引するとともに、南海トラフ地震を想定し、関西全体で「**防災力**」を強化します。

二点目は、大阪・関西万博のインパクトを活かし、経済界等と連携して、イノベーションの創出等を図るなど「**産業力**」を強化し、働く場や投資先として選ばれる関西を目指します。

三点目は、令和5年3月に京都へ移転した文化庁や関係団体等と連携して「**文化力**」を向上し、日本の美とところを関西から世界に発信します。

四点目は、琵琶湖・淀川地域における水源保全や水循環に関する対策等の流域自治の推進に向けた研究等、自然の力・生態系サービスを大切に守る「**環境保全力**」を高め、循環型社会の実現に挑戦します。

五点目は、持続可能な広域自治体へ成長し、地方分権の主体となるべく、広域連携による行財政改革や新たな広域自治・行政の研究等に取り組み、「**広域自治力**」を高めます。

いよいよ大阪・関西万博が開幕します。関西パビリオンでは関西各地の魅力を一体となって発信し、関西各地への広域周遊を誘うゲートウェイとして展開してまいります。万博を契機に、皆さまと力を合わせ、関西から新たな時代を切り拓いてまいりたいと思います。

ともに頑張りましょう!

令和7年4月

防災力

- 「防災庁」設置の議論を牽引
- 南海トラフ地震を想定し、関西全体で防災力を強化
- 大規模災害発生時等の応援・受援体制を確立

産業力

- 大阪・関西万博を生かしたイノベーションの創出
- 経済界や大学等と連携した産業力の強化
- 公設試験研究機関連携による研究開発の推進
- 働く場や投資先として「選ばれる関西」へ!

文化力

- 文化庁との連携促進
- 世界へKANSAIブランドの発信強化
- 「Creative KANSAI構想」の具体化 (文化芸術を核とし、ヒト・モノ・カネ・情報が集積する拠点となる)

関西新時代

KANSAIから
日本の未来をつくる!

広域自治力

- 広域連携による行財政改革の推進
- スケールメリットを最大限生かした広域行政課題の克服
- 持続可能な広域自治体への成長
- 新たな広域自治・行政の研究

環境保全力

- 流域自治の推進に向けた研究
- 循環型社会実現への挑戦
- 府県域を越えた連携型鳥獣害対策を推進
- 脱炭素社会づくりを推進